

2022年11月9日

新型コロナウイルス対策本部

新型コロナウイルスワクチン追加接種のすすめ

第7波が9～10月によりやく落ち着いたのも束の間、今月に入って、東京および全国の新規陽性例数は増加傾向に入りました。向寒の折、今後の本格的な増加が予想され、ワクチン追加接種が推奨されています。

都や自治体の接種会場では、流行中のオミクロン株のBA.5株対応のワクチン接種が始まりました。予約状況も今のところ余裕があるようです。接種券が住所地の市区役所から送付されている方は、自治体の接種会場の利用をお勧めします。

大学での職域接種は追加接種（4回目）として8月18日～19日に行い、3ヶ月経過以降の追加接種の実施を検討していますが、職域接種用に供給されるワクチンは、現状ではBA.5株の1世代前のBA.1株対応のワクチンの見込みです。事前の意向調査で希望が少なく職域接種を中止した大学もあり、さらに情報を集めて今後の方針を考慮中です。以上のような状況をご勘案いただいて、都・自治体の接種会場の利用もよろしくご検討ください。

なお、学内では、インフルエンザワクチンの接種が今週から始まっていますが、インフルエンザワクチン接種と新型コロナウイルスワクチン接種との間隔には特に制限はありません。体調に無理のないような間隔で接種を受けるようにしてください。